



高校生社長講座

～起業塾～

Entrepreneurship school

欧米各国に比べ、起業家教育が遅れていると言われる日本の現状において、日本経済の再生や起業家育成の裾野を広げるために“高校生起業家の輩出”を目的とした高校生版MBA「高校生社長講座～起業塾～」を開講。実践的な起業ノウハウを学び、新たな付加価値を創出できる生徒を輩出するためのプログラムです。①起業家精神の醸成 ②洗練されたOff-JT～経営知識の習得～ ③豊富なOJT～実践力の養成～の3つを軸とし、年間40回以上の講座を開講しています。

理事長兼校長
渡邊 美樹

【プロフィール】

学校法人郁文館夢学園理事長兼校長。ワタミ株式会社代表取締役会長兼社長CEO。ワタミグループの創業者として、外食、宅食、有機農業、再生可能エネルギー事業などを展開し独自の6次産業モデルを構築。国内及び海外十数カ国で事業を展開。2019年、参議院議員を一期6年務め、政府教育再生会議委員なども歴任。

『夢に近づく』5つの 学びの特徴

1

東証プライム企業の創業者であり、現在も経営者として活躍する「渡邊美樹」が専属メンターとして指導！業界研究では、日本全国で活躍されている起業家を多数お招きし、直接講義を行います。

2

1年間の起業塾活動時間は計100時間！
圧倒的な経営講義実践により、大幅にレベルアップします。

3

学問だけじゃない、3年間かけての実践的プログラム！
起業体験やアントレプレナーシッププログラムを通して経営に必要な「心と科学」をバランスよく習得します。

4

在学中の会社設立を学校がバックアップ！
投資ファンドとの連携やクラウドファンディングなどの資金調達方法についても学習します。

5

起業塾で行うアントレプレナーシップ教育は、失敗を恐れずに挑戦し自分にしかできない新たな価値を見出します！
その経験を活かして、総合型・学校推薦型選抜に挑戦することができます。



3年間のプログラム

1年
2年
3年

4月	渡邊美樹理事長による講義 経営道①～起業とは～
9月	起業体験プログラム（模擬店投資家会議、郁秋祭模擬店）
7月	渡邊美樹理事長による講義 経営道②～ミッション・ビジョン・戦略～
12～2月	各社長講義（6～8名）
4～7月	現地フィールドワーク（PBLツアー、社会探究などの取り組みと連携）
12～2月	各社長講義（6～8名）
1月	ビジネスモデル作成講座
3月	学内ビジネスモデル発表会
	夢AWARD出場者向け個別指導、フィードバック
8月	高校生みんなの夢AWARD決勝大会
9月	起業塾の経験を活かして総合型選抜などへチャレンジ

夢の通過点となる大学進学

Pick up 起業体験プログラム 模擬店 in 郁秋祭*

模擬店投資家会議

郁秋祭の模擬店は、実際の投資を募るところから始めます。投資家会議と題し在校生の保護者VC（ベンチャーキャピタリスト）の方々に向け、生徒が店舗の売上目標や事業計画等をプレゼンテーションして資金を調達します。投資を得るために各店舗の社員（学生）が商品やサービスに対する熱い思いを語ります。

* 郁秋祭：郁文館の文化祭



郁秋祭模擬店

郁秋祭期間中、グラウンドには株式会社の「社長」として生徒が立ち上げた模擬店がずらりと並びます。利益がでたら投資家である保護者VCへのリターンを行うため、どの企業の社員も少しでも多くの利益を生み出せるよう、隣の店舗に負けじとお客様の呼び込みに熱がります。「企画→仕入れ→接客→会計→決算報告」までの全てのプロセスを生徒が身をもって体験します。



Pick up 「高校生みんなの夢AWARD」 グランプリをはじめ受賞者を毎年輩出！

日本そして世界の未来を担う高校生たちが、夢をビジネスにする楽しさや喜びを発見し「夢を叶える力」を培い「可能性」を広げることを目的として開催されている、高校生のためのビジネスプランコンテスト「高校生みんなの夢AWARD」。本校の起業塾生から毎年グランプリをはじめ受賞者を輩出しています！

グランプリ（2023年度）

「離島物流にイノベーションを」
（※受賞当時 郁文館高等学校3年 起業塾生）



準グランプリ（2022年度）

「日本の外国ルーツの子どもたちの居場所作り」
（※受賞当時 郁文館高等学校3年 起業塾生）



準グランプリ（2021年度）

「ジャージー牛を使用したグルメバーガー」
（※受賞当時 郁文館高等学校3年 起業塾生）



起業塾の様子は
HPで！

